

「たくさんの笑顔をつくる」という会社理念のもと
笑顔循環型モノづくり企業を目指している

株式会社フクシン

かぶしがいがいしゃふくしん



会社情報

所在地 香川県東かがわ市白鳥 78-1

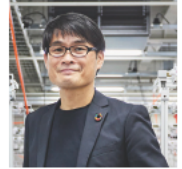
電話番号 0879-25-2285

HP <https://www.fukushin.co.jp>

設立 1977年

代表者 代表取締役 CEO 福崎 二郎

従業員数 75人



会社概要

香川県東かがわ市に本社を置き、1977年より手袋販売事業者として創業。手袋のほか靴下、ネックウォーマーなどのニット製品の製造・卸売を主力に手掛ける。卸売事業においては、買場提案力、販売機会ロスの低減、商品デリバリー力、適正価格の実現化等に注力。地球温暖化が進む中で、天候に一喜一憂せず、自分たちから積極的に環境にやさしい取組をしようとする新ブランド「ecuvo, (エクボ)」を立ち上げた。



選定分野



サステナビリティ
(環境配慮)

環境配慮やサーキュラーエコノミーの実現に向けた SDGs 経営

オリジナルのサステナブルブランド「ecuvo,」では、原材料にはリサイクル素材や天然素材にこだわり、廃棄予定の食品(コーヒー豆、ブルーベリー、赤かぶ等)から抽出した染料で染めた商品開発など、地球環境に配慮したサステナブルブランドを目指しており、「永久定番商品の開発」、「永久修理保証サービス」、「手袋・靴下の片手片足だけの販売サービス」など、環境配慮に向けた取組がエシカル消費に関心の高い消費者を中心に共感を得ている。また、製造過程で出る捨て糸等の廃棄を極限まで削減する工夫や技術開発を行い、販売後においても修理対応を行うなど廃棄の機会を減らす工夫で同社商品由来の廃棄物より発生する温室効果ガスを抑制する取組を行っている。本社工場では、建物屋上の太陽光発電と非化石証書付電力の購入により使用電力の100%を再生可能エネルギー化することを実現。愛着のある商品を末永く大切に使う精神が従業員にも浸透し、社長の趣味であるプロギング(ゴミを拾いながらのジョギング)に感化された社員が自ら海岸清掃活動を定期的に行うなど、地球環境に優しいものづくりが社員の行動変容にもつながり、海ゴミ削減に向けた社会貢献など、地域社会を愛し地域社会からも愛される企業を社員一丸となり目指している。

ARM/LEG COVER



廃棄予定の食品から抽出した染料で染めた「ecuvo,」SS商品



デジタル化

EC、SNS等の活用による潜在顧客の発掘、新市場の拡大の実現

顧客満足をとことん追求し、商品としての差別化にも積極的に取り組んでいる。手袋を編む縫製技術を活かし、足のカチに合わせた立体的な編み立てで足の裏部分を厚みのあるリブ編みにするなど、部位に合わせて細かな調整も行き、足指の一本ごとをあたたかく守る形状とした、「てぶくろ屋さんがつくったモコモコ5本指ソックス」シリーズが完成。EC事業にも参入し、ネットショップ販売やSNS等デジタルマーケティングにも力を入れており、個別の細かなニーズに真摯に対応し、小さな需要を集めることで、2015年のEC売り上げから約7倍以上にまで自社ブランドの売り上げを拡大している。継ぎ目がなくシームレスなので、履きやすくフィット感に優れ、履き心地もよいため、冷え性に悩む女性を中心に大ヒット商品となり、手袋市場ではない新たな潜在顧客の発掘にも繋がっている。また、同社ではトータルピッキングシステムを採用している。整理された広大な商品倉庫を持ち、バーコードリーダーを搭載したピッキングカートにより、無線LANによるデータピッキングから自動伝発・自動検品までシステムティックにデリバリー業務を進めており、受注から商品到着までのリードタイムをいかに短く出来るかを考え、日々改善努力をしている。



トータルピッキングシステムを採用



技術力やデザイン力による付加価値の創出

原材料や製造工程で環境に配慮、家族で長く使ってもらえるデザインを採用

オリジナルのサステナブルブランド「ecuvo,」においては、原材料や製造工程で環境に配慮するとともに、また家族で長く使ってもらえる飽きのこないシンプルなデザインや工夫を行っている。また、チーゼルという植物の実を使い、指先や指股の細かな部分まで丁寧に起毛させていく独自技術を導入。商品の編み立てには、着け心地にこだわり、ほとんど縫い目ができないホールガーメントという最新技術を採用するなど、付加価値の高い商品開発で差別化を追求している。製造過程において出る捨て糸等の廃棄を極限まで削減できるよう、「ゼロゴミ編み立て法」の技術開発を行い、生産時のゴミを限りなくゼロに近づけることにも成功。「ecuvo,」の全商品対象では、「2021年度グッドデザイン賞」を受賞、秋冬商品限定で「おもてなしセレクション」、マスクおよび春夏商品（廃棄予定の食材から染色された商品）で「かがわ食品ロス削減大賞・たるる賞（優秀賞）」をそれぞれ受賞。家族一人ひとりが長く使えるよう、飽きのこないシンプルなデザインとし、紳士・婦人・キッズのサイズで同じデザイン展開を採用。また永久定番商品の開発や、永久修理保証、手袋・靴下の片手片足だけの販売など、愛着のある商品を末永く大切に使う精神を従業員に理解させ製造した商品が、消費者の共感を得ている。



再生紙や天然素材を使った2次利用可能なパッケージを採用



新規性のある事業・サービス

環境配慮や使う人の笑顔を最優先したモノづくり

瀬戸内海や山々に囲まれる自然豊かな東かがわ市に所在することや、主力商品は防寒に関連するものであり、気候変動や地球温暖化には以前より高い関心があった。その課題解決のためにSDGs経営を取り入れ、サステナブルブランド「ecuvo,」を立ち上げた。「ecuvo,」は以下の点において新規性がある。

・買換え需要による売上げや販売数の増加を目指すのではなく、環境配慮や使う人の笑顔を最優先に思うモノづくりに共感を得てファンを増やすビジネスモデルはファッション手袋業界においても、付加価値の高い新たなサービスモデルとして注目されている。

・「ecuvo,」の製品には、オーガニック素材を使用するだけでなく、廃棄予定の食品を使用した染色などフードロスの課題解決に繋がる取組や、製造過程において出る捨て糸などの廃棄を極限まで削減する「ゼロゴミ編み立て法」や、飽きのこないシンプルで機能的なデザインを追求した「永久定番商品の開発」、「永久修理保証サービス」、「手袋・靴下の片手片足だけの販売サービス」など、できるだけ長く使ってもらうための工夫と独自のサービスを取り入れており、廃棄物の削減を目指す取組は、カーボンニュートラルに繋がるSDGsの取組として、エシカル消費への関心が高い消費者を中心に話題を集め、新たな市場の獲得に成功している。



リサイクル繊維で作った「ecuvo,」AW商品